



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 雅明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 馬鳥 秀彰 TEL 03(3663)3111
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	24,778	8.0	1,295	50.5	3,099	50.2	1,912	50.6
27年3月期第1四半期	22,950	△4.5	860	△28.4	2,063	4.7	1,269	6.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2,252百万円 (67.6%) 27年3月期第1四半期 1,344百万円 (△25.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	14.32	—
27年3月期第1四半期	9.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	107,078	73,033	62.5	501.42
27年3月期	113,940	71,584	57.6	491.85

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 66,955百万円 27年3月期 65,679百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	49,200	6.9	2,000	12.8	5,000	17.8	3,100	19.5	23.21
通期	100,000	4.0	4,500	16.6	10,500	10.3	6,400	12.1	47.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	141,667,400株	27年3月期	141,667,400株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	8,134,956株	27年3月期	8,130,929株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	133,534,640株	27年3月期1Q	133,340,124株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済政策・金融政策の効果を背景に、企業収益の改善や平均株価の上昇など全般的に緩やかな回復基調が持続いたしました。一方、個人消費におきましては、円安による原材料高を起因とする生活関連商品の値上げなどから購買意欲の高まりには依然としてやや鈍さが継続しているように見受けられます。

このような状況の中、当社グループは昨年4月よりスタートした第5次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution Phase2(三井製糖2022への道)」(2014年4月～2016年3月)の進捗に注力し、各事業活動に取り組んだ結果、当第1四半期連結累計期間の業績及びセグメントの概況は以下の通りとなりました。

(砂糖事業)

海外粗糖相場につきましては、期の前半ではブラジルの通貨レアル高基調を受け、12セントから13セント半ばへ、なだらかな上昇基調で推移いたしました。しかしながら期の後半では、インド、ブラジル、タイなどの主要生産国の圧搾が順調との予測を受け、市場は需給の更なる緩和を織り込み、相場は一時12セントを割込みましたが、その後回復して12セント前半で第1四半期末を迎えました。以上のような相場動向の中、当社では慎重な原料糖調達に努めてまいりました。

生産面では、当期から輸入可能となった豪州の高糖度粗糖を神戸工場で使用したことが生産工程の負荷低下や生産の安定化に寄与し、また、前年同期に比較して原油価格が低位安定的に推移したことを受け、ガスの調達コストが低下したことから製造変動費が減少いたしました。

販売面では、既存量販店への販促強化や新規量販店への納入開始などの効果に加え、前年同期の消費税率引き上げの反動による一時的な販売不振もなく、家庭用製品の販売量が増加いたしました。また、業務用につきましても、新規ユーザーとの取り組みによる販売増などがあり、前年同期を上回ることができました。販売に係る経費面におきましても、昨年10月に竣工した神戸製品倉庫を効率的に活用したことで、製品保管料や荷役作業料等のコストを削減いたしました。

連結子会社では、北海道糖業株の生産量や販売量の増加による固定費負担減と利益率の改善が寄与し、以上の結果、砂糖事業全体で、売上高20,762百万円、営業利益987百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場(日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり)

期を通じて185円～186円で推移

海外粗糖相場(ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり)

始値12.00セント 高値13.60セント 安値 11.10セント 終値 12.28セント

(フードサイエンス事業)

フードサイエンス事業につきましては、パラチノース売上高が前年同期をやや下回ったものの、前期に国内生産を終了し輸入に切り替えたことで売上総利益率を改善し、さとうきび抽出物につきましては食品呈味改良用途や飼料用途向け販売が好調に推移いたしました。

連結子会社につきましては、昨年12月に連結子会社化したニュートリー株の貢献に加え、北海道糖業株のバイオ事業と株タイショーテクノスの順調な業績により、売上高3,671百万円、営業利益は131百万円となりました。

(不動産事業)

前期に竣工した東京都杉並区及び川崎市の賃貸マンションが収益貢献したことに加え、既存賃貸物件に係る保全費用の発生もなく、売上高、営業利益とも前年同期を上回り、売上高344百万円、営業利益175百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は24,778百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は1,295百万円(前年同期比50.5%増)となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー1,529百万円、持分法による投資利益192百万円を計上したことなどから、経常利益3,099百万円(前年同期比50.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,912百万円(前年同期比50.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[連結財政状態の変動状況]

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比6,861百万円減少し107,078百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比6,433百万円減少し41,784百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金の増加328百万円等があった一方で、商品及び製品の減少3,618百万円、現金及び預金の減少1,819百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比427百万円減少し65,294百万円となりました。これは主として、のれんの増加646百万円、投資有価証券の増加428百万円等があった一方で、圧縮記帳処理等による有形固定資産の減少1,443百万円等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比8,311百万円減少し34,044百万円となりました。これは主として、借入金の減少3,357百万円、支払手形及び買掛金の減少2,202百万円、未払法人税等の減少974百万円、未払費用の減少271百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比1,449百万円増加し73,033百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益1,912百万円、剰余金の配当801百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、概ね計画並に推移しており、平成27年5月12日に公表の通りとし変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,178	14,359
受取手形及び売掛金	6,848	7,177
商品及び製品	15,683	12,065
仕掛品	1,878	1,526
原材料及び貯蔵品	5,352	4,579
繰延税金資産	680	641
その他	1,595	1,434
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	48,217	41,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,498	34,777
減価償却累計額	△20,887	△20,969
建物及び構築物(純額)	13,610	13,808
機械装置及び運搬具	72,683	71,830
減価償却累計額	△60,050	△58,597
機械装置及び運搬具(純額)	12,633	13,233
工具、器具及び備品	2,325	2,257
減価償却累計額	△2,016	△1,959
工具、器具及び備品(純額)	308	297
土地	18,435	18,435
リース資産	912	885
減価償却累計額	△118	△142
リース資産(純額)	794	742
建設仮勘定	2,960	780
有形固定資産合計	48,742	47,299
無形固定資産		
のれん	2,380	3,026
その他	678	636
無形固定資産合計	3,058	3,662
投資その他の資産		
投資有価証券	12,055	12,484
長期貸付金	35	34
退職給付に係る資産	302	291
繰延税金資産	685	692
その他	867	855
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	13,920	14,332
固定資産合計	65,722	65,294
資産合計	113,940	107,078

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,804	4,601
短期借入金	5,300	2,400
1年内返済予定の長期借入金	1,778	1,629
リース債務	93	92
未払費用	2,851	2,580
未払法人税等	1,900	925
役員賞与引当金	59	13
その他	3,995	2,487
流動負債合計	22,783	14,731
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,555	2,246
リース債務	706	671
繰延税金負債	1,326	1,428
役員退職慰労引当金	218	215
退職給付に係る負債	2,886	2,893
資産除去債務	395	395
その他	1,484	1,462
固定負債合計	19,572	19,313
負債合計	42,356	34,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	1,291
利益剰余金	58,665	59,775
自己株式	△2,895	△2,896
株主資本合計	64,144	65,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	581	714
繰延ヘッジ損益	△1	△4
為替換算調整勘定	690	734
退職給付に係る調整累計額	263	258
その他の包括利益累計額合計	1,535	1,702
非支配株主持分	5,904	6,078
純資産合計	71,584	73,033
負債純資産合計	113,940	107,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	22,950	24,778
売上原価	18,157	18,859
売上総利益	4,793	5,919
販売費及び一般管理費		
配送費	1,102	1,207
役員賞与引当金繰入額	13	13
退職給付費用	27	32
その他	2,789	3,369
販売費及び一般管理費合計	3,933	4,623
営業利益	860	1,295
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	44	183
受取ロイヤリティー	1,141	1,529
持分法による投資利益	86	192
雑収入	26	25
営業外収益合計	1,299	1,933
営業外費用		
支払利息	34	30
固定資産除却損	14	52
雑損失	48	46
営業外費用合計	97	129
経常利益	2,063	3,099
特別利益		
補助金収入	163	1,202
特別利益合計	163	1,202
特別損失		
固定資産圧縮損	147	1,186
特別損失合計	147	1,186
税金等調整前四半期純利益	2,079	3,115
法人税、住民税及び事業税	689	953
法人税等調整額	62	80
法人税等合計	751	1,034
四半期純利益	1,328	2,081
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	168
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,269	1,912

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	1,328	2,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	132
繰延ヘッジ損益	△6	△3
退職給付に係る調整額	3	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	△41	51
その他の包括利益合計	15	171
四半期包括利益	1,344	2,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,280	2,079
非支配株主に係る四半期包括利益	63	173

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,284	2,384	282	22,950	—	22,950
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	—	12	24	△24	—
計	20,296	2,384	294	22,975	△24	22,950
セグメント利益又は損失 (△)	763	△5	103	860	—	860

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,762	3,671	344	24,778	—	24,778
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	10	10	30	△30	—
計	20,771	3,682	354	24,808	△30	24,778
セグメント利益	987	131	175	1,295	—	1,295

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。